

Let's Challenge!!

活躍の場所は
世界中にある!

青年海外協力隊「PCインストラクター」

青年海外協力隊とは?

開発途上国の人々のために貢献したいという意欲を持った日本人の若者(20~39歳)を公募し、原則2年間ボランティアとして派遣する制度です。

文化慣習の異なる現地の人々と相互理解を図りながらの活動は、現地への貢献とともに、草の根外交として国際交流を深める場であり、自分自身の枠を広げ、豊かな視野と行動力を育む「現場主義」の成長の場です。

◆途上国のICT環境◆

先進国では情報通信技術(ICT)が著しい発展を遂げています。あらゆる活動の改善を下支えする潜在的能力を持っており、現代社会はICTなくして成り立たないと言っても過言ではありません。

しかし、多くの開発途上国ではICTの普及が遅れており、先進国とのICT格差(デジタル・デバイド)が生まれ、また、途上国内においても通信が可能なところ(情報へのアクセスが可能なところ)とそうでないところの情報格差が、そのまま経済格差となり、格差がますます拡大していくという構図が発生しています。



◆PCインストラクターの活動◆

派遣先は、小中高等学校、大学、教員養成校、職業訓練校等の教育機関をはじめ、官公庁や障害者支援施設等、多岐にわたります。

コンピュータ教師やWebサイト制作者として、現地の人と共に活動を展開していきます。

たとえば……

- ・配属先生徒へのOffice等・授業の実施
- ・指導者の育成/強化
- ・Office等授業教材作成
- ・コンピュータールームの管理
- ・配属先Webサイト作成 など



◆応募前に◆

ご自身のITスキルを客観的に判断できるようなIT資格を取得してください。

◆取得が望ましい資格

・[ITパスポート](#)

◆取得するとさらに良い資格

・MOT
・[基本情報技術者](#) など

また、職場でITを活用した実務経験は、途上国での活動にも活かされます。

まず、2年以上の実務経験を積むことをおすすめします。

※
技術補完研修の見学会を実施しています。お問い合わせください。

jv-kenshu@joca.or.jp

◆帰国後◆

途上国での2年間の活動は、人生において貴重な経験になり、様々な力が身に付きます。

- ・途上国での活動体験は、人間としての幅を広げ、大きく視野が広がります
- ・困難にも臆さず挑戦する力、組織・国境を超えた語学力・コミュニケーション力が得られます
- ・多様性を認めると共に、豊かな個性・独自性が育まれグローバル人材として成長します

グローバルな経験とIT力を有した優秀な人材を多くの企業・組織が求めています！

◆応募にあたり◆

日本とは全く異なる環境での活動になるため、ITの技術や知識のみではなく、様々な力が必要となります。

- ・限られた機材を最大限活用できるような創意工夫
- ・文化も言葉も異なる人々と共にじっくりと問題解決する忍耐力

<活かせる経験/知識>

- ・事務職としてOfficeを活用した職務経験
- ・IT系営業職としての職務経験
- ・Webサイト作成経験
- ・PhotoShop/Illustratorの活用経験
- ・学校教師の経験
- ・PCインストラクター経験
- ・SE・プログラマ経験
- ・情報学部等での学習知識

◆合格後のサポート◆

PCインストラクターとして派遣される場合、訓練所入所前に約2週間「コンピュータ研修」を実施しています。

途上国での活動がスムーズに行えるよう必要技術習得のサポートをします。

<技術補完研修内容>

- ・ネットワーク基礎
- ・コンピュータ・リペア
- ・PC教授法
- ・PC教室の維持・管理



独立行政法人 国際協力機構

青年海外協力隊事務局

<http://www.jica.go.jp/>